二〇二一年度　田園調布学園大学

全学部全学科専攻　共通

国語　入学試験問題

一般選抜（個別試験型）B日程

受験番号						

（注意）

一、解答は、すべて別紙の「解答用紙」に記入してください。

二、受験番号と氏名は、「問題用紙」と「解答用紙」の両方の所定の欄にかならず記入してください。

三、「問題用紙」と「解答用紙」は、試験終了後、かならず提出してください。

四、「問題用紙」に「下書き」「書き込み」などをしてもかまいません。

五、試験時間は六〇分です。

氏名

（一）次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

僕はＮＨＫのＢＳで『ＣＯＯＬ　ＪＡＰＡＮ』というテレビ番組の司会をしています。日本に来て時間のたっていない一般外国人をゲストに、日本のさまざまなものをＣＯＯＬ（かっこいい）か、かっこよくないか、あれこれと話すＮＨＫ①らしいバラエティー番組です。

日本に来て、まだ1ヵ月たっていないというフランス人の出演者が、番組が始まる前に、興奮した顔で僕に話しかけてきました。

「先週、電車の中にバッグを忘れたんです。もう、悲しくて、その話を日本人の友人にしたら、すぐにＪＲに電話すると言うんです。そんなバカなと思ったら、僕のバッグは、置き忘れた網棚の場所に、そのままあったんです！」

彼は目を　　Ａ　　、信じられないという顔をしました。

「フランスなら、間違いなくバッグはなくなっています。いえ、ヨーロッパなら、どこでもそうでしょう。持ち主が近くにいないと分かると、すぐに誰かが盗んでいくんです。日本人はなんてマナーがいいんでしょう！　これは奇跡です！」

興奮した早口の英語を聞きながら（番組の共通言語が英語ですから）、僕はずっとａ微笑んでいました。日本人として、日本をほめられるのは、何にしても嬉しいものです。

電車は東京の山手線のようでした。ぐるぐると回り、大勢の乗客が乗り降りしている電車に、そのままバッグが残っていたことに、彼は本当に衝撃を受けたようでした。

が、２週間後、次の収録の時、彼はｂ困惑した顔で僕の前に現れました。

「今日、電車に乗っていたら、杖をついたお年寄りが乗ってきたんです。彼女は、プライオリティーシート（優先席）の前に立ったんだけど、座っている日本人は誰も彼女と席を替わろうとしないんです。みんな、下を向いたり、平気な顔で携帯電話をいじりながら座ってるんです。フランスなら、いや、ヨーロッパならどの国でも、すぐに誰かが立って彼女を座らせてあげますよ。杖をついているお年寄りを立たせるなんて信じられない！

昨日はね、階段を女性が乳母車を抱えて降りてたんです。でも、誰も手を貸さないんですよ。彼女は必死に、赤ん坊が乗った乳母車を一人で下ろしてるんです。いったい、この国のマナーはどうなっているんですか！？」

彼は、本当に理解できないという顔をしました。２週間前、この国のマナーを絶賛しただけに、本当に戸惑っているようでした。

日本人だって席は譲るよ、とあなたは思うでしょうか？

欧米に旅行したり、住んだりした人は、欧米の人たちが、素早く席を譲ったり、乳母車の手助けを自然にすることに驚いた経験が一度や二度はあると思います。

イギリスの地下鉄に乗っている時、モヒカンヘアーのパンクファッションの若者が、老人に

　Ｂ　　と席を譲った風景は衝撃でした。

思わず、「お前の反体制のポリシーはどうなるんだ？」と、耳に　　Ｃ　　とピアスを並べ、鋲が打たれた革ジャンを着ている若者に聞きたくなりました。

そんなパンク野郎が、ｃテれるわけでもなく、ふてくされるわけでもなく、じつに自然に席を立つのです。それは、不思議な光景でした。

②それ以来、僕は、日本と海外の席を譲る割合のようなものに妙に敏感になりました。

欧米の平均は、80％を超えていると思います。目の前に老人が立てば、８割以上の確率で、欧米人は席を譲ります。

日本は、５割を切っていると思います。老人が目の前に立っていても、半分以上の場合、日本人は席を譲りません。

まして、階段を一人で乳母車を抱えて降りていく母親に「持ちましょうか？」と声をかけて助ける日本人の割合は、１割以下だと思います。欧米だと、これも８割以上の人が、自然に手を貸します。

と書きながら、僕たちは、マナーの悪い国に住んでいるのでしょうか？

そんなことはないと思います。現に、フランス人の彼は、２週間前は絶賛していたのです。

そうです。彼の話に戻ります。彼は、困惑していたのです。

「日本人はマナーがいいのか悪いのか、　　Ｄ　　分かりません！」

あなたなら、なんと答えますか？

そもそも『ＣＯＯＬ　ＪＡＰＡＮ』という番組は、こういう日本人と外国人の意識の違いを見つけ、考え、楽しむ内容なのです。

僕は、しばらく考えました。

そして、じつは、③網棚に残ったバッグも、席を譲らない日本人も、同じ理由から生まれているんじゃないかと、結論したのです。

日本人は同じ理由から、正反対のマナーだと思われる行動を取っているんじゃないか。それは、以下のようなエピソードに思い当たったからです。

電車で、たまにおばさんたちの団体にｄ遭遇します。おばさんのうち、すごく元気な人が、まず車内に飛び込み、座席を人数分、確保します。そして、後からやってくる人に「ほら、ここ！取ったわよ！」と叫びます。

席を取ったおばさんは、他の乗客が席の近くに来ても、当然のように無視して、自分の仲間を待ちます。仲間が遅れていて、他の人たちが戸惑った顔や、ちょっと怒った顔で空いている席を見ていても、そんな視線をまったく気にしないかのように、自分が取った席は、自分の仲間たちの席だと確信しているのです。

席を取ったおばさんにとって、席のそばに立っている学生だったり、親子連れだったりする人たちは、存在しないのでしょう。存在しているのは、自分の仲間たちだけです。

そういう時、なかなかやって来ない仲間のために　　Ｅ　　と空いた席の前に僕は立ちながら、けれど、同じ日本人だからこそ④おばさんの心情がよく分かります。

おばさんは、決して、マナーが悪いのではないのです。それどころか、仲間思いのとても親切な人のはずです。困っている仲間がいれば、きっと、ｅシンミになって相談に応じたりしているのでしょう。

おばさんは、自分に関係のある世界と関係のない世界を、　　Ｆ　　と分けているだけです。

それも、たぶん、無意識に。

電車でのことをずっと考えていて、このおばさんの例を思い出しました。

おばさんは、自分に関係のある世界では、親切でおせっかいな人のはずです。そして、自分とは関係のない世界に対しては、存在していないかのように関心がないのです。

この、自分に関係のある世界のことを「世間」と呼ぶのだと思います。

そして、自分に関係のない世界のことを、「社会」と呼ぶのです。

おばさんは、「世間」に関心があっても、「社会」には関心がないのです。そして、自分の「世間」に属している人のためには必死で走り、電車の席を確保するのです。

でも、「社会」に属する人たちには、おばさんは、必死になにかをする必要は感じないのです。「すみませんね。ここは、あたしたちの席なんです」と微笑みながら断る人もいれば、まったく関心がないように無表情のまま無視する人もいます。

そう考えれば、網棚に残されたバッグと、優先席で席を立たない日本人は、同じ原理＝ルールで動いていることが分かります。

ほとんどの日本人にとって、網棚に残されたバッグは、自分とは関係のない世界＝「社会」なのです。

同じく、目の前に立っている杖をついた老女もまた、関係のない世界＝「社会」なのです。関係のない世界だから、存在しないと思って無視したのです。それが、網棚のバッグなら「盗みのない奇跡の　G　」になり、優先席の場合なら、「足の悪い人を立たせている最悪の　H　」になるのです。

「空気」と「世間」鴻上尚史著　（講談社現代新書）講談社 2009　pp.33-39

問一　二重傍線部a～eについて、漢字はその読みをひらがなで答え、カタカナは漢字に改め、楷書で正確に書きなさい。

問二　傍線部①「らしい」と同じ使い方をしているものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　天気予報によれば明日は快晴らしい。
イ　道に迷っていると、地元の人間らしい女性が声をかけてくれた。
ウ　女性はかわいらしいトイ・プードルを二匹連れていた。
エ　大きなマンションが立ち並ぶあたりに古くは大きな池があったらしい。
オ　木々が色づき始めて、ようやく秋らしい景色になってきた。

問三　空欄Aに入る最も適当な表現を次の中から選び記号で答えなさい。

ア　三角にして
イ　つりあげて
ウ　細めて
エ　大きく見開いて
オ　鋭く光らせて

問四　空欄B・C・D・E・Fに適する語を、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　きっぱり　イ　さっぱり　ウ　さらり　エ　じゃらり　オ　ぽつん　カ　むっつり

問五　傍線部②「それ以来、僕は、日本と海外の席を譲る割合のようなものに妙に敏感になりました」とあるが、なぜか。その理由として最も適当なものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　海外では多くの人が自然に、杖をついた老人に席を譲ったり、乳母車を持ち上げる手助けしたりするのを知ったから。

イ　海外では、電車など公共の場では、パンクファッションの若者が反体制のポリシーを曲げてでも席を譲るということが義務付けられているから。

ウ　フランス人の若者から、日本人が杖をついた老人に席を譲らない、乳母車を抱えて階段を上る女性を手伝わないと指摘され衝撃を受けたから。

エ　フランス人の若者から、日本人のマナーに関する正反対の行為を指摘されて、日本人のマナーはいったいどうなっているのかと聞かれたから。

オ　日本人は、乳母車を抱えて階段を上る女性を手伝わないことが多いとしても、優先席で席を譲らないことはありえないと思ったから。

問六　傍線部③「網棚に残ったバッグも、席を譲らない日本人も、同じ理由から生まれているんじゃないか」とはどういうことか。一一〇字以内で説明しなさい。

（下書き用）

問七　傍線部④「おばさんの心情」を説明したものとして最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分の仲間を優先して他人に迷惑をかけてもいいという気持ち
イ　誰かのために何かをしてやりたいというおせっかいな気持ち
ウ　自分の身内や仲間には必死で何かをしようという気持ち
エ　知らない人とはできるだけ関わりたくないという気持ち
オ　実は誰に対してでも親切に接したいという優しい気持ち

問八　空欄Ｇ・Ｈに適する語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　アイデア　　イ　ポリシー　　ウ　マナー　　エ　モラル　　オ　ルール

問九　次は右の文章を読んだ高校生が感想を述べたものである。文章の趣旨に最も合う発言を一つ選び、記号で答えなさい。

ア　「日本人はマナーのいい人と悪い人が極端ですよね。最近は確かに若い人より中年のおばさんの方がマナーはなっていないと思います。」
イ　「網棚のバッグ、もし気づいたら、誰かが忘れたのでしょうから、駅に届けてあげるのが本当のマナーではないかしら。みんな関わりたくないから見て見ぬふりをしたのでは？」
ウ　「コロナ禍の中、保育園で、医療に関わる保護者の子どもとそれ以外の子どもは別室にしてほしいという意見が出るのも、この話と似ているような気がします。」
エ　「日本人だって、席は譲りますよ。私は優先席には絶対にすわらないようにしているし、普通の席にすわった時でも、高齢者や妊婦には席を譲っています。」
オ　「日本よりフランスの方がおかしいと思います。だって、人の忘れ物を盗む人がいるのに高齢者や妊婦には優しいなんて矛盾しています。」

（二）次の【文章Ⅰ】は、野見山暁治の「画家の髯」、【文章Ⅱ】は「顔」の一節である。二つの文章を読んで、後の問いに答えなさい

【文章Ⅰ】

一時は私も、顔一面に髯を生やしてみようと思った。原始人のように髯の奥から、目が光っているのは凄味があっていい。スゴミとかニガミとかが人間の顔での唯一の味わいだとばかり、ついこの頃まで思い込んでいた。若い俳優や小説家や画家はａイチリツに眉をひそめた表情で写真にうつっている。おもえば①他愛のない面つきだ。髯の奥から優しい目がのぞいているという方が、まだ自然でいい。

髯をたてている人にきいてみると、子供っぽく見えるから、人を使う立場だから、というような答がだいたいに、はね返ってくる。威厳を保つために必要な、男の化粧法なのかも知れないが、体の面積からいって、点に等しいくらいの小部分が黒くなっただけで、あるいは白くなっただけで、その人間全体に威厳がそなわるというのは、マヤカシではないか。しかし、②絵がマヤカシであるのと同様、それはそれで立派な造形だと私は思っている。

ダリ[注1]の髯は賞められない。ダリは、自分の顔が、全智全能の神の容貌に、少しは近づいていいはずだと思い込んでいるに違いない。他の男たちと同様の変哲もない造りなのが口惜しくて仕様がないのだろう。できるならば、顔をもひっくるめて、自分のからだ全体を　A　的に造りかえてしまいたいだろうが、そうはゆかないモドカシさが髯に凝縮されている。滑稽（こっけい）なヒゲだ。

昔読んだヴァレリイ[注2]の本に、人間は他の誰にも見せてはならない個所だけを、そこだけを曝（さら）け出して歩いている。といったような意味で、顔のことを書いていたのを覚えている。ダリは、人格をｂ露呈しているその顔を、あの髯でかくしたつもりなのだろう。

美校[注3]の生徒であったころ、私は椎名町の小さい道にそった貸アトリエに住んでいた。熊の毛皮のようなものを着た髯茫々の熊谷守一[注4]が歩いてゆくのを、時折、アトリエの窓から私は眺めることがあった。そのころはまだ黒い髯で、人形の山伏のように、一本一本の毛が、逆に顎につきささっているような無気味さで、腕力的にとてもかなわないな、と思った。剃りあとも青々としたモリカズ先生を見たら、かなわないなという印象は持たなかったろう。

私や、他の男たちが一応はヒゲをたててみようと志すのは、持って生れた自分の顔だけでは　B　ができないと思い込んでいるか、いくぶんでも生の顔の面積を少なくしてくれるカクレ蓑を必要としているかなのだと思う。

しかし、熊谷守一のように立派な顔と体をもった人が、ナマの顔で勝負できないわけはなく、また③カクレ蓑を使うほど卑怯なはずはない。いったいに無造作にみえる扮装というのは、かなり気を使っているもので、私の親爺は、鼻の下にチョビ髯を生やしているが、その手入れは鏡に向かうとき、百面相のように情なく、目つきは囚人のようにおぞましいもので、子供心に、これが自分の親なのかと悲しかった。そうして出来上ったものといえば、鼻水よけのようなものなのだ。

熊谷守一は百面相はやらないはずであるが、出来上ったヒゲには満足なのだろう。おそらくモリカズ先生の作品から察すると、体に自然に生えるものをわざわざ切ったり剃ったりすることは

ない、という持論ではなかろうかと思われるが、それこそ無意識に　C　のある人の心情であって、かりに私が、生えてくるものを自然に放っておいたらどうなるか。一メートル六五センチ、五〇なんキロ。初対面の人と握手でもしたら髯と一緒に体がゆれて、あれがノミヤマか、強がった絵を描きたがるのも無理はない、と同情されるだけだ。

野見山暁治「画家の髯」―『四百字のデッサン』河出書房新社　1982　pp.88-90

【文章Ⅱ】

④はからずも中学時代の旧友から便りがあった。この欄を読んで、懐しくあの頃を思い出す、という文面だ。　君は図画室で唯一人やっていたですね。床に坐りこんで鏡を見ながら自画像を描いていたこともあった　。思い出した。その自画像にはかなり時間をかけた。左側が七分ぐらいの斜めの顔だ。ある日、絵の先生が部室に入ってきて、この絵は男ぶりが良すぎる、女学生にモテようと思っとるな、とイタイことをおっしゃった。描く人間の⑤さもしさが自画像ほど出るものはない。絵の中の顔は本人の欠点がかくされて見事に整い、ある理想像をなしている。絵の本質とは関係ないのだ。

仕事や人格の完成を願うように、人は自分の顔にも　D　を求める。顔は人間性内面の表看板だと思い込んでいるからだ。⑥これは厄介なことだ。着物で体をかくすよりも顔をかくす方が本当だったのかも知れない。看板ほどマギラワしいものはないのだ。政治家や教師、あるいは組織の幹部なぞは人々に信頼される厳粛な顔が必要だろう。努めて重々しい表情の日々を繰り返しているうちには、自然とそういう皺が顔に出来る。だいたい日本人は社会的にふさわしい顔というものを要求しすぎるように思う。　E　の世界だから致し方ないのかも知れないが、年をとるから老けた顔になるのではなくて、費やしてゆく歳月とのｃダイショウに、老けたお面を買い漁っている実情なのだ。これは大変だろうなとよく思う。針でもって頬っぺたを一寸押せば、プチュンと空気が抜けて、⑦あどけない元の顔に戻るんじゃないか。

私の顔は大人にならないまま、今は少しずつしぼんでゆく風情だ。いつまでも若くて、と私の他愛ない顔をｄ羨ましそうに言う人もあるが、⑧その反面の切なさを同情してくれる人はまずいない。昔の小学校は教科書が国じゅう同じでハナハトマメマスだったとか、二十一歳になると兵隊にとられてその苦労はどうだったとか、戦前のエカキは全く食えなかった、というような話を私より年下の人からクドクドと聞かされると、私は本当に泣き出したくなる。東北の県展の審査に招ばれて行った時なぞは、日本画、彫刻、工芸の各審査員先生方を、新聞社の旗をたてた車が二台、駅に迎えにきて、私だけを残して行ってしまった。知らない街であんなに悲しかった事はない。それは感傷ではなくて、この実社会では本当に困ることなのだ。ヒゲをたててゴマかせる問題ではない。勿論ためしてみたが、何のことはない、トッチャンｅコゾウだった。

どうして大人の顔にならない人間がいるのか。社会的になんら威厳を持たなくていい自由業で、生まれたときからそう金に苦労がなくて、飼育しなければならない子供もいなければ、つまりはこうなる。相撲の力士なんか二十歳そこそこで信じられないほどの立派な風格の顔を作りあげているが、　F　とは別にその人間の最盛期に、顔は応じて出来上がってゆくもののようだ。しぼまないうちに私も最盛期の顔をつくりたい。

注１　サルバドール・ダリ　スペイン出身の画家。シュルレアリスムを代表する人物で、跳ねた髯をトレードマークとする。
注２　ポール・ヴァレリイ　フランスの詩人、小説家、評論家。
注３　美術学校の略。
注４　くまがいもりかず　日本の画家。作風はフォービズムや抽象を主とし、「画壇の仙人」と呼ばれた。

野見山暁治「顔」―『四百字のデッサン』河出書房新社　1982　pp.218-220

問一　二重傍線部ａ～ｅについて、漢字はその読みをひらがなで答え、カタカナは漢字に改め、楷書で正確に書きなさい。

問二　傍線部①「他愛のない」と同じ意味として使われている言葉を本文中から五文字で抜き出し、書きなさい。

問三　傍線部②「絵がマヤカシであるのと同様、それはそれで立派な造形だと私は思っている」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　画家が筆で色彩を加えて絵を描くことと、人が威厳を保つために顔に髯で細工をすることは同じ作用があると考えているということ。
イ　絵が実物ではなく生み出された表現であるように、髯も本来備わっていない威厳を生み出す効果があると思っているということ。
ウ　顔の一部に黒い箇所を加えるだけで威厳が備わるという技法が、絵画でよく使われる技法と同じ効果を出すと思っているということ。
エ　自画像が本物よりも美化されて描かれるように、髯をたてることで実物以上に威厳をもたせられると考えているということ。
オ　絵が実物とは異なる偽物の造形であるように、髯をたてた顔には威厳とは異なる偽物の表情が作られると思っているということ。

問四　空欄Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｆに入る最も適当な語句を次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　価値　　イ　自信　　ウ　年齢　　エ　人工　　オ　理想　　カ　勝負

問五　傍線部③「カクレ蓑を使うほど卑怯なはずはない」とあるが、具体的にどのような

ことか、三十字以内で説明しなさい。（句読点を含む）

（下書き用）

問六　傍線部④「はからずも」、⑤「さもしさ」、⑦「あどけない」について、本文中の意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

④はからずも

ア　間をおかず
イ　知らないうちに
ウ　ところで
エ　思いがけず
オ　久しぶりに

⑤さもしさ

ア　下劣さ
イ　あくどさ
ウ　頼もしさ
エ　物欲しさ
オ　巧みさ

⑦あどけない

ア　愛すべき
イ　嫌味のない
ウ　無邪気な
エ　若々しい
オ　情け深い

問七　傍線部⑥「これは厄介なことだ」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　着物で体を隠すことはできるが、顔を隠すことは難しいから。
イ　外面の顔は表看板となれるが、内面の人間性は隠れてしまうから。
ウ　日本人はとくに、社会的にふさわしい顔を他者に求めがちだから。
エ　自然とできる皺のある顔を待つ前に、老けたお面を買い漁るから。
オ　厳粛な顔を見ると、その人間性内面も同様と思ってしまうから。

問八　空欄Ｅには、勤続年数や年齢に応じて役職や賃金を上げることを意味する四字熟語

が入る。漢字で書きなさい。

問九　傍線部⑧「その反面の切なさ」とあるが、それはどのようなことか、本文のことばを使って、五十字以内で説明しなさい。（句読点を含む）

（下書き用）

問十　本文の内容についての説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　髯の有無や年齢、職業に関係なく、最盛期にある人はナマの顔で充分風格があるように、それぞれの人の顔は人間性の表看板になると「私」は考えている。

イ　髯をたてるのは、味わいのある表情を求めたり、生の顔に少しでも威厳をもたせたりしたかったからだが、大人の顔にならない「私」には意味のないことだった。

ウ　髯が人間の内面を表す看板になると知っている「私」は、ダリの滑稽な髯を批判する一方、立派な髯を生やしたままにしている熊谷守一には敬意を払っている。

エ　画家ならではの視点から、顔の与える印象について古今東西の芸術家のエピソードを交えながら、造型的効果としての髯の効果について述べている。

オ　髯の有無や実年齢とは関係なく、社会的責任を負った人や人生の最盛期を迎えた人たちが風格のある顔をつくっていくことに、「私」は疑問を感じている。

（三）次の文中の空欄にあてはまる最も適当な語句を選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

①彼の（　　）な発想によって、次から次へと新製品を生み出している。
ア　アバウト　　イ　オーバー　　ウ　ナンセンス　　エ　ユニーク

②先生もダンス部の発表を（　　）のですか。
ア　お見えになった　　イ　お目にされた　　ウ　ご覧になった　　エ　拝見なさった

③彼のせいではないのに彼を恨むのは（　　）だ。
ア　おかどちがい　　イ　針のむしろ　　ウ　付け焼き刃　　エ　むこうみず

④そんな（　　）了見では先が思いやられる。
ア　変な　　イ　ささやかな　　ウ　せまい　　エ　ぞんざいな

⑤彼女は相変わらずつっけんどんで取り付く（　　）もない。
ア　腕　　イ　島　　ウ　暇　　エ　耳

⑥ここまできたら、もうやるしかないと腹を（　　）。
ア　かかえる　　イ　くくる　　ウ　よじる　　エ　割る

⑦彼女は甘やかされて育ったから世間のことは何も知らない。全く（　　）だ。
ア　虻蜂取らず　　イ　井の中の蛙　　ウ　河童の川流れ　　エ　猫に小判

⑧私の父は（　　）で、家族の意見を聞いてくれない。
ア　アグレッシブ　　イ　シニカル　　ウ　ストイック　　エ　ワンマン

⑨党の方針に納得ができず若手議員たちは（　　）をひるがえす行動に出た。
ア　全身　　イ　上下　　ウ　表裏　　エ　反旗

⑩簡単に辞められては紹介した私の（　　）がない。
ア　言い草　　イ　所在　　ウ　立つ瀬　　エ　面目